こんな活動です

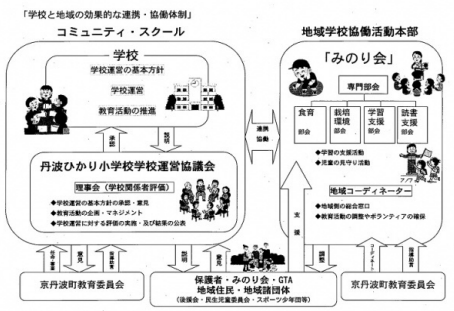
夢に向かう子どもたちのために、よきパートナーとして「響」きあう活動を

京都府京丹波町	●活動名	●関係する学校名
	京丹波地域学校協働本部丹波ひかり小学校部会　「みのり会」	京丹波町立丹波ひかり小学校

協働活動開始年度	平成　27　年度	関係学校数	1　校	のべ学級数	11　学級	のべ児童・生徒数	218　人
活動区分	学校支援活動	ー	地域人材育成				
	ー	ー	外部人材を活用した教育支援活動				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	1人		1人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・ＮＰＯ等との連携	無		
	平成19年6月2日設置		100人				
参考URL	http://www.kyoto-be.ne.jp/tanbahikari-es/cms/?page_id=56						

●連絡先　京丹波町立丹波ひかり小学校　☎ 0771-89-2353

●体制図



●活動の概要・経緯

・平成18年度に文部科学省から「コミュニティ・スクール推進事業」の指定を受ける。（推進委員会の設置）
・「ひかり小方式」の基本的な指針を検討、委員の委嘱、ＰＴＡ総会での説明等を経て学校運営協議会を設置
（学習支援部会・読書支援部会・食育部会・栽培環境部会）
・先進校視察（鳥取県）、「コミュニティスクール推進フォーラム」（文科省主催）等で情報収集
・支援組織として「ＧＴＡ（祖父母による支援組織）」「みのり会」を整備
・学校評価の実施（計画→実行→評価→次への行動）

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

【特徴的な活動内容】
・学習支援部会：やりきり道場（補習ワークの採点）、ミシン学習の支援、戦争体験の語り、昔の遊び体験支援
・読書支援部会：お話会の開催と朝の始業前の読み聞かせ
・食育部会：家庭科学習支援、地元特産の黒豆の栽培と調理（きんつば作り）、大豆の栽培と調理（きなこ、味噌造り）
・栽培環境部会：米作りに挑戦（田植えから稲刈り、しめ縄づくり）、ＧＴＡによるサツマイモ作り指導、バラ園づくり
・安全見守りボランティアの活動

【実施に当たっての工夫】

【実施に当たっての工夫】
・「学校と地域住民が相互に信頼関係を深めながら、子供の豊かな学びを支援すること」を活動の基盤にしている。
・児童の祖父母等も含め、広い年代の住民による支援を進めている。
・特に学習支援については、教育課程を踏まえた学習や体験活動の支援を進めている。
・各学期ごとに広報誌「響」を発行し、校区内全戸に配布することで、開かれた学校づくりの一翼を担っている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

・児童の学習意欲が向上し、平日の授業も活性化してきた。自信を持って落ち着いて学習する姿勢が育っている。
・学校だけでは体験できないことを数多く体験することで、新しいものに挑戦したり、協力して取り組むことの大切さが身についてきた。
・地元の自然や特産物、文化、まちづくりなどを学習することで、地元を愛する気持ちが強まった。

● その他

・4つの専門部会の部長は学校関係者評価委員であり、学校の実情を理解して活動に取り組んでいる。ボランティアメンバーは、地域ボランティアを生きがいとして、ふるさと「京丹波」の人づくりをめざして活動を続けている。

読書支援部のボランティアさんによる読み聞かせ

クラブ活動での外部ボランティアによる専門指導